



山陽小野田市立
山口東京理科大学

工学部 応用化学科 4年

小川 夏歩さん

OGAWA Kaho

(宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校出身)

♡ My Happy Technology!!

女性の表情、心を明るくする そんな化粧品の開発に携わりたい

今の道に進んだきっかけは、 幼少期のお化粧品へのドキドキ

化粧品の開発に携わり、多くの人にメイクを通して笑顔届けたい。それが、私の理系進学の原因です。最初に、化粧に対する興味が芽生えたのは、クラシックバレエと新体操を習っていた幼少期です。舞台上立つためにメイクをし、髪をきれいにまとめた自分を見た瞬間、幼心にワクワク、ドキドキしたことを今も覚えています。また、祖母と母から外で遊ぶ際に「日焼け止めは絶対塗ってね!」と口を酸っぱくして言われていたことも、美容に対する意識が高まったきっかけだったかもしれません(笑)。

そして、その思いを引っさげて、現在は念願だった美容に関する研究に取り組んでいます。専門は、頭髪用の化粧品開発に関する、毛髪内構造の研究です。加齢とともに髪質が変化する理由の1つに、ケラチタンパク質をつくる「シ

スチン」の減少が挙げられます。今の研究の目標は、シスチンが減少した部分を直接リカバーできるケア剤をつくること。近く、ヘアケアメーカーと共同研究を行う予定があるため、実現化に向けた今後の研究が楽しみです。

化粧をすることで心も明るく! その素晴らしさを発信したい

大学卒業後の目標は、化粧品メーカーの研究職です。しかし、就職活動を進めるうちに、研究職だけではなく、お客様に直接魅力を伝えられる美容部員にも興味をもちました。その化粧品が持つ成分、効果といった専門的な情報を、実体験を持って伝えられると自信を持っています。メイクをすると表情も、そして気持ちも明るくなり、今がもっと楽しくなるという素晴らしさを、多くの人に伝えていきたいです。



ひとこと

“好き”が学びのいい源に

勉強に必要なエネルギーは“好き”という気持ちです。化粧品が好きな私は、デパートで話題の新作を見たり、スマホで最新情報をチェックしたりと、常にアンテナを張っています。そこで得た情報や感覚は、直接的ではなくとも日々の研究のいいアイデアになることも多い。どんな分野でもいい。楽しい、面白いと思う感性を、勉強においても大事にしてほしいです。

必ず持ち歩いているメイクポーチ。昼食後のメイク直しで、午後の研究にも身が入ります!

